

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
成人援助論 I	1 単位 (30 時間)	小市 洋子 (病院看護師) 柳澤 拓也 (病院看護師) 黒岩 翼 (病院看護師) 伊藤 佳孝 (病院看護師) 青木佐知子 (臨床経験 20 年)	2 年後期

【学習目標】

成人期に生じやすい疾病とその症状・治療を踏まえ、回復過程にある患者の看護援助に必要な知識を学ぶ。回復過程にある患者を理解し、生活の再構築への看護を理解する。

【授業の進め方】

講義 グループワーク

【授業スケジュール】

- 1 医療の動向と看護・患者に特徴と看護の役割・援助のための主な知識と技術
- 2 症状に対する看護・検査を受ける患者の看護
- 3 経過に応じた看護・保存療法を受ける患者の看護
- 4 手術を受ける患者の看護・疾患を持つ患者の看護
- 5 脳血管障害の概要、脳卒中・頭部外傷・神経難病など
- 6 症状に対する看護① (意識障害など)
- 7 症状に対する看護② (排泄障害など)
- 8 神経学的所見の見方
- 9 消化器疾患をもつ患者の特徴と看護の役割、しょうじょうとその病態生理、検査と治療
- 10 胃がん、大腸がん手術後の患者の看護、術後合併症予防について
- 11 ドレーン管理について
- 12 ストーマ造設術を受ける患者の術前・術後の看護について
- 13 女性生殖器疾患の動向と特徴、看護の基本
- 14 女性生殖器疾患の診察・治療に伴う看護、生活への支援
- 15 試験

【教科書】

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学

[10] 運動器 [7]脳・神経 [5]消化器 [9]女性生殖器 医学書院

【参考書】

【評価方法】

筆記試験

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
成人看護方法 I	1 単位 (20 時間)	町田 久美 (臨床経験 5 年)	2 年後期

【学習目標】

成人期の特徴・健康レベル及び健康問題を統合的にとらえ、対象の状況に応じた援助方法について理解を深める。

【授業の進め方】

講義、演習、グループワーク、レポート発表

【授業スケジュール】

- 1・2 グループワーク 対象の統合的理解について
成人期の特徴、成人の生活、健康問題を踏まえた視点と看護
- 3・4・5 成人期によくみられる疾患とそれに伴う看護
事例をとおした看護過程の展開と対象に合わせた援助
- 6 演習 成人患者とのコミュニケーション
事例（コミュニケーション場面）から患者との関わり方を考える
- 7 グループワーク 成人患者—看護師関係の構築について
- 8 グループワーク 対象に応じた的確な援助につなげるために必要なこと
- 9・10 「成人期における対象の個別性と状況をとらえた看護」についてレポート発表

【教科書】

学習内容関連の教科書

【参考書】

学習内容関連書

【評価方法】

出席状況：出席時間と参加態度（20%）・演習評価（30%）・レポート（50%）

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
老年援助論 I	1 単位 (30 時間)	松沢土子 (臨床経験 26 年) 山岸里美 (病院認定看護師)	2 年前期

【学習目標】

1. 看護の視点で高齢者の特徴 (生きる力) を理解し、健康維持・増進について理解する
2. 高齢者の特徴をふまえ健康障害の防止と老化による弊害を理解しその人に近づくための日常生活援助の基本を理解する

【授業の進め方】

講義、グループワーク、演習

【授業スケジュール】

- 1 看護の視点での高齢者の理解 高齢者におけるアセスメントとケア
- 2 //
- 3 高齢者の健康を支える看護 ①栄養・食事ケア・口腔ケア (演習)
- 4 ②排泄ケア
- 5 ③活動・休息・睡眠への援助
- 6 ④環境整備 (転倒予防)
- 7 ⑤コミュニケーション障害への援助
- 8 //
- 9 加齢に伴う身体的特徴と看護 ①脱水予防・浮腫
- 10 ②スキンケア (痒み・清潔)
- 11 ③痛みのケア、骨粗鬆症
- 12 ④摂食・嚥下障害
- 13 // (演習)
- 14 ⑤高齢者のリスクマネジメント
- 15 試験

【教科書】

系統看護学講座 老年看護学 医学書院

【参考書】

随時適切な資料を提示

【評価方法】

筆記試験

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
老年援助論Ⅱ	1 単位 (30 時間)	山岸 明広 (認定看護師) 柴本 幸子 (認定看護師) 金塚 孝司 (臨床経験 34 年)	2 年後期

【学習目標】

高齢者に特有な健康障害を示す病態、症状や徴候、経過、治療等を学び、高齢者及びその家族を対象とした看護を学ぶ。

【授業の進め方】

講義

【授業スケジュール】

- 1 高齢者に特有な疾患・障害及び看護 ①認知症 生理的老化との違い
- 2 高齢者に特有な疾患・障害及び看護 ①認知機能の障害に対する看護
- 3 高齢者に特有な疾患・障害及び看護 ①認知症まとめ
- 4 高齢者に特有な疾患・障害及び看護 ②肺炎・誤嚥性肺炎
- 5 高齢者に特有な疾患・障害及び看護 ③褥瘡
- 6 高齢者に特有な疾患・障害及び看護 ③褥瘡
- 7 高齢者に特有な疾患・障害及び看護 ④皮膚掻痒症・疥癬 ⑤前立腺肥大症
- 8 高齢者に特有な疾患・障害及び看護 ⑥大腿骨頸部骨折
- 9 高齢者に特有な疾患・障害及び看護 ⑦パーキンソン症候群
- 10 高齢者に特有な疾患・障害及び看護 ⑧心不全
- 11 高齢者の手術看護・薬物療法
- 12 高齢者の手術看護・薬物療法
- 13 高齢者に特有な疾患・障害及び看護 ①身体徴候のアセスメント
- 14 高齢者に特有な疾患・障害及び看護 ②苦痛の緩和
- 15 試験

【教科書】

系統看護学講座 老年看護学 医学書院

系統看護学講座 老年看護学 病態・疾患論 医学書院

【参考書】

随時適切な資料を提示する

【評価方法】

筆記試験

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
老年看護方法 I	1 単位 (15 時間)	松沢 土子 (臨床経験 26 年)	2 年全期

【学習目標】

- 1 加齢変化が高齢者の生活に及ぼす影響を理解し、健康レベルに応じた看護が実践できる技術を身につける。
- 2 地域で生活する高齢者を支える看護の役割について理解し、看護師と他職種間の連携、協働の方法を学ぶ。
- 3 人生の先輩である高齢者との関わりや学習をもとに、高齢者看護の多様性、個別性について理解を深め、臨床への看護に応用できる能力を養う。

【授業の進め方】

講義、演習、個人ワーク、グループワーク、レポート発表

【授業スケジュール】

- 1 地域における高齢者施設や老年看護の役割
- 2・3 高齢者の身体変化の体験演習
高齢者体験スーツ着用による生活行動の体験、おむつ交換
- 4 個人ワーク 高齢者に多い症状、高齢者関連制度施設、認知症看護
- 5・6 グループワーク 老人保健・福祉施設における看護師の役割、小規模多機能施設
デイサービス・老人保健・福祉施設におけるサービスについて
- 7・8 「地域で高齢者を支える援助について」看護師としての考えをレポートにまとめ発表

【教科書】

系統看護学講座 老年看護学 医学書院
看護技術ベーシック 医学芸術社

【参考書】

随時必要資料を提示する

【評価方法】

出席状況：出席時間と参加態度（20%）・演習技術評価（30%）・レポート（50%）

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
小児看護学概論	1 単位 (30 時間)	和田 光子 (臨床経験 12 年)	2 年前期

【学習目標】

様々な健康レベルの子どもが健やかに成長していくために、子どもの権利の尊重・子どもの成長発達を支援し、子どもやその家族にとって最善のケアを提供するための小児看護実践の基礎を学ぶ。

【授業の進め方】

小児に対する興味関心を引き出すため、子どもの視野体験学習や絵本の読み聞かせ体験、千と千尋の神隠しの映画の教材化を講義に取り入れる。また、授業と並行して学生自身の出生～思春期の自分史を作成し、自己の小児期と照らし合わせながら成長発達の過程を学ぶ。本来の子どもの姿や力を伝え、小児看護の土台となる小児看護観を育てるような学習を進める。

【授業スケジュール】

- 1 小児と家族を取り巻く環境・医療・看護
 - ① 小児看護の変遷、こどもの人権と看護
 - ② 小児看護の対象
 - ③ 小児看護の目標とその役割
- 2 小児の成長と発達 <自分史を母子手帳や成長記録から作成>
 - ① 成長・発達の原則と影響因子、発達評価
 - ② 形態的特徴、機能・生理的特徴、身体的機能
 - ③ 感覚機能の発達、言葉の発達、コミュニケーション
 - ④ 情緒の発達、認知発達、心理社会的発達、知的発達
 - ⑤ こどもと遊び
<絵本の読み聞かせ・トトロ折り紙>
 - ⑥ こどもと事故<チャイルドビジョンによる子どもの視野体験>
 - ⑦ こどもと感染、予防接種
 - ⑧ こどもの栄養と食事 <離乳について>
- 3 小児の健康増進と発達の支援
 - ① 乳児の健康増進と発達の支援
 - ② 幼児の健康増進と発達の支援
 - ③ 学童・思春期の健康増進と発達の支援
<題材 千と千尋の神隠し>
- 4 試験

【教科書】

系統看護学講座 専門Ⅱ 小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院
国民衛生の動向 厚生統計協会

【参考書】

生涯人間発達論 第2版 医学書院

【評価方法】

筆記試験・授業態度の総合評価

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
小児援助論 I	1 単位 (30 時間)	丸山 さや香(認定看護師) 佐藤 理紗(臨床経験 7 年)	2 年後期

【学習目標】

病気や入院が小児や家族に与える影響について理解できる。また、病気の主な症状とその看護について理解し、観察の視点や援助方法について学ぶ。
小児の特性を踏まえた看護技術について理解し、安全安楽かつ人権を尊重した小児看護技術の方法を学ぶ。

【授業の進め方】

病気や入院が小児や家族に与える影響について、臨床での児たちの闘病の姿から学んだことを教授する。また、子どもや家族の力を信じて引き出すことの大切さを伝え、子どもの可能性を尊重し思いを大切にする看護の実践についての具体的な関わり方を話す。プレパレーションや小児看護技術については実際に場面を設定しロールプレイング学習を取り入れ学習する。

【授業スケジュール】

- 1 小児看護における倫理
- 2 小児の病気の理解
- 3 病気や入院が小児と家族に与える影響とその看護
- 4 小児にみられる主な症状とその看護
発熱・脱水のある小児の看護
- 5 嘔吐・下痢のある小児の看護
- 6 呼吸困難のある小児の看護
- 7 //
- 8 小児に必要な看護技術
 - ① コミュニケーション技術
 - ② フィジカルアセスメント
- 9 検査・処置を受ける小児への看護
- 10 インフォームドアセント
- 11 プレパレーション
- 12 治療にともなう小児看護技術について
- 13 小児バイタルサイン測定
- 14 採血、輸液療法、骨髄穿刺、腰椎穿刺演習
- 15 試験

【教科書】

系統看護学講座 専門Ⅱ 小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院

【参考書】

小児の主要症状とケア技術 医歯薬出版

【評価方法】

筆記試験

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
小児看護方法 I	1 単位 (15 時間)	佐藤 理紗 (臨床経験 7 年)	2 年後期

【学習目標】

- 1 健康な子どもを理解する方法を学び、発達段階に応じた援助技術を身につける。

【授業の進め方】

講義、演習、グループワーク、レポート発表

【授業スケジュール】

- 1 健康な小児の成長発達段階に応じた関わりについて
- 2 グループワーク 小児の成長発達、基本的な生活習慣獲得のための援助方法
- 3・4 演習 自己紹介（小児が受け入れやすい自己表現、工作）
遊び（絵本の読みきかせ、紙芝居、折り紙、手遊び等）
- 5・6 グループワーク 健康な子どもとの関わりから学んだこと
- 7・8 発表会

【教科書】

系統看護学講座 専門Ⅱ 小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院

【参考書】

学習内容関連書

【評価方法】

出席状況：出席時間と参加態度（20%）・演習評価（30%）・レポート（50%）

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
母性看護学概論	1 単位 (30 時間)	小林 康子 (臨床経験 13 年)	2 年前期

【学習目標】

女性のライフサイクル全体を通して、性と生殖に関する健康の保持増進を目指す看護活動の基礎を学び、母性看護の特性を理解する。

【授業の進め方】

統計資料を用い世界の動向を踏まえ、現代社会の状況を捉えた講義の展開と臨床症例を紹介しながらグループワークを行う。

【授業スケジュール】

- 1 母性看護における学習の視点・母性とは
- 2 母子関係と家族発達 セクシュアリティ
- 3 リプロダクティブ/ヘルスライツ ヘルスプロモーション
- 4 母性看護における倫理 安全・事故予防
- 5 母性看護の歴史の変遷
- 6 母性看護の対象理解 (性周期・女性のライフサイクルと家族・母性の発達)
- 7 女性のライフステージ各期の特徴・健康問題と看護 (思春期)
- 8 女性のライフステージ各期の特徴・健康問題と看護 (成熟期)
- 9 女性のライフステージ各期の特徴・健康問題と看護 (更年期・老年期)
- 10 リプロダクティブヘルスケア
 - ①家族計画
 - ②性感染症とその予防
 - ③人工妊娠中絶とその看護
- 11 リプロダクティブヘルスケア
 - ④HIV に感染した女性に対する看護
 - ⑤性暴力を受けた女性に対する看護
- 12 リプロダクティブヘルスケア
 - ⑥喫煙女性に対する看護
 - ⑦虐待とその看護
- 13 母性における倫理的問題 (4ステップシートを使って)
- 14 母性における倫理的問題
- 15 試験

【教科書】

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学概論 医学書院
 国民衛生の動向 Vol166 No9 2019/2020 厚生労働統計協会出版社

【参考書】

新藤幸恵他：新体系看護学全書 母性看護学概論/ウィメンズヘルス看護 2012
 我部山キヨ子他：臨床助産師必携、生命と文化を踏まえた支援 医学書院 2006

【評価方法】

筆記試験

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
母性援助論 I	1 単位 (30 時間)	小林 康子 (臨床経験 13 年)	2 年前期

【学習目標】

妊娠期の特徴を理解し、セルフケア能力を高め、出産・育児の準備に向けての支援の方法を学ぶ。また、分娩の経過を理解するとともに、ハイリスク状態も含めた産婦の看護を学ぶ。

【授業の進め方】

講義、演習

【授業スケジュール】

- 1 妊娠期の身体的特性 胎児の発育と生理
- 2 妊娠に伴う心理・社会的特性
- 3 妊婦と胎児のアセスメント
- 4 演習 (妊婦体験・レオポルド触診法・母体計測・骨盤外計測)
- 5 妊婦と家族の看護 保健指導・サービス
- 6 ハイリスク妊娠と看護 ・合併症をもつ妊娠、妊娠期の感染症
- 7 ハイリスク妊娠と看護 ・妊娠性疾患、多胎妊娠、子宮外妊娠
- 8 分娩の3要素
- 9 分娩の経過
- 10 分娩期の看護 第I期・第II期
- 11 分娩期の看護 第III期・第IV期
- 12 分娩の異常と看護 (産道・陣痛・胎位の異常)
- 13 分娩の異常と看護 (胎児機能不全、弛緩出血)
- 14 帝王切開を受ける産婦の看護
- 15 試験

【教科書】

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学各論 医学書院

【参考書】

なし

【評価方法】

筆記試験、授業態度の総合評価

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
精神看護学概論	1 単位 (30 時間)	ペタス 裕子 (臨床経験 16 年)	2 年前期

【学習目標】

人間の成長発達を理解に基づいて、精神の健康問題を捉える視点を理解し、精神看護の対象を理解し精神看護に必要な知識を深める。

【授業の進め方】

精神疾患や精神障害に関して想像もつかず恐怖感を感じている学生たちが多い。講義だけでなく新聞記事や DVD の視聴、また臨床での症例や経験を伝えることで、誰にでもなりうる病気であり精神保健が重要であることや疾患の理解を深めていく。

【授業スケジュール】

- 1 精神看護学で何を学ぶか
- 2 精神の健康と障害 ①精神の健康とは ②精神障害とは
- 3 人間のこころの働き ①DVD 視聴
- 4 ②脳の仕組みと精神障害 ③人間のこころの諸活動
- 5 危機介入・ストレス理論・コーピング
- 6 ケアの人間関係 ①看護場面の再構成
- 7 " ②再構成の検討
- 8 家族とその支援
- 9 精神科に関する理論家 ①グループワーク
- 10 " ②発表
- 11 精神医療看護の歴史と現状
- 12 精神障害者観 (DVD)
- 13 精神障害者観 (DVD)
- 14 患者—看護師関係
- 15 試験

【教科書】

系統看護学講座 専門分野 精神看護の基礎 医学書院
 系統看護学講座 専門分野 精神看護の展開 医学書院

【参考書】

随時資料を提示

【評価方法】

筆記試験、精神障害者観レポートの総合評価

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
精神援助論 I	1 単位 (30 時間)	長峯清英 (病院医師) 丸山喜弘 (臨床心理士)	2 年全期

【学習目標】

精神看護を展開していくうえで重要な精神障害と精神医療で一般に用いられる治療法を理解する。

【授業の進め方】

講義、演習

【授業スケジュール】

- 1 精神症状論と状態像 1, 2
- 2 精神障害の診断と分類 1
- 3 精神障害の診断と分類 2, 3
- 4 精神科での治療 1
- 5 精神科での治療 2, 3
- 6 精神科における治療と基本姿勢
- 7 個人精神療法 ①
- 8 個人精神療法 ②
- 9 個人精神療法 ③ 集団精神療法
- 10 病院見学・学内学習
- 11 //
- 12 家族療法、社会・環境療法、まとめ
- 13 病院見学・学内学習
- 14 //
- 15 試験

【教科書】

系統看護学講座 専門分野 精神看護の基礎 医学書院
 系統看護学講座 専門分野 精神看護の展開 医学書院

【参考書】

なし

【評価方法】

筆記試験